

これからの大学でどのように学ぶのか～主体性を生み出す学びの多様性～

大学にはさまざまな学生がいて、それぞれが主体的にさまざまなことを学ぶ。大学での学び方は、教える側が主体となる「教授パラダイム」から学習者が主体となる「学習パラダイム」へと変換しつつある。コロナ禍でも産学連携や地域連携など学外の活動を通して、学生の主体的な学びを実践している例も多い。また、さまざまな学生の主体的な学びの支援も多様になってきている。一般的な学習支援・学習環境整備だけでなく、障害のある学生や経済的な問題を抱えている学生への支援も必要である。

本シンポジウムでは、地域連携を通して学生が主体的に学んでいる例やさまざまな学生への支援の取り組みなども挙げて、これからの大学で学生がどのように学んでいけばよいのか議論したい。

シンポジスト



西田 貴明 氏 京都産業大学 生命科学部 准教授

経歴

1980年京都府生まれ、2004年京都府立大学卒業、2009年京都大学大学院理学研究科修了。理学(博士)。専門は環境政策学、生態学。2009年より三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社政策研究事業本部研究員、及び総合地球環境学研究所研究員を経て、2019年に京都産業大学生命科学部産業生命科学科准教授として着任。

主な活動、著書

自然環境の機能評価や自然環境を活用した政策に関する研究を行いつつ、自然の多様な機能を活かしたインフラ整備である、グリーンインフラの推進に向けた産学官連携によるプロジェクトに数多く携わる。大学教育では、環境政策とともに、PBLやインターンシップ関連科目を担当し、産学連携の下で生命科学を活かすキャリア形成を促す授業を担当している。『決定版!グリーンインフラ』(日経BP)、『実践版!グリーンインフラ』(日経BP)、『インパクト評価と社会イノベーション』(第一法規)、『環境ビジネスのゆくえ』(日科技連)などを共同執筆。



國本 千裕 氏 千葉大学 アカデミック・リンク・センター 副センター長/准教授

経歴

1981年神奈川県生まれ。2004年慶應義塾大学文学部卒業。2009年慶應義塾大学文学研究科後期博士課程単位取得退学。修士(図書館情報学)。慶應義塾大学文学研究科助教、駿河台大学メディア情報学部専任講師、千葉大学アカデミック・リンク・センター特任准教授などを経て、2017年4月より現職。2022年より千葉大学大学院人文公共学府「教育・学修支援コース」准教授。

主な活動、著書

専門は図書館情報学。大学図書館を中心とした学習環境のデザインと評価、大学生の学習行動、学習・研究を支援する専門人材の実践知について研究活動を行っている。編集に携わった図書として『ラーニング・コモンズ』(勁草書房)がある。アカデミック・リンク教育・学修支援専門職養成プログラム(ALPS)では「ラーニングコモンズの運営」および「プロジェクト研究・実習」「教育・学修支援マネジメント」を担当。教職協働による学習支援の実践と各種調査、成果の実務還元を積極的に実施している。



永田 和宏 氏 JT生命誌研究館 館長、歌人、京都大学 名誉教授、京都産業大学 名誉教授

経歴

1947年滋賀県生まれ。京都大学理学部物理学科卒業。米国国立癌研究所(National Cancer Institute, NIH)客員准教授を経て、京都大学胸部疾患研究所教授、同再生医科学研究所教授、京都産業大学総合生命学部学部長、同タンパク質動態研究所所長などを歴任。2020年4月より現職。紫綬褒章、ハンスノイラト賞(USA)、瑞宝中授章他受賞(章)。歌人としては、塔短歌会主宰(2014年まで)、朝日歌壇、宮中歌会始詠進歌選者など。読売文学賞、芸術選奨文部科学大臣賞、現代短歌大賞、迢空賞、斎藤茂吉短歌文学賞、若山牧水賞など受賞多数。

主な活動、著書

日本細胞生物学会会長、Cell Stress Society International, President、アジア太平洋細胞生物学会副会長などを歴任。現在、日本医療研究開発機構(AMED)のCREST/PRIME研究「プロテオスタシス」研究統括。歌集15冊の他、『近代秀歌』『現代秀歌』『タンパク質の一生』(以上、岩波新書)、『歌に私は泣くだらう』(新潮文庫)、『生命の内と外』(新潮選書)、『知の体力』(新潮新書)、『象徴のうた』(文藝春秋)、『あの胸が岬のように遠かった』(新潮社)など多数。

コーディネーター



白鳥 秀卓 氏 京都産業大学 生命科学部 教授/教育支援研究開発センター 副センター長

経歴

静岡県生まれ。1998年東京農工大学農学部獣医学科卒業。2002年大阪大学大学院医学系研究科博士課程修了。博士(医学)。2003年日本学術振興会特別研究員。2004年大阪大学生命機能研究科助手、2007年同助教授、2008年同准教授。2016年京都産業大学総合生命科学部教授、2019年京都産業大学生命科学部教授。2021年10月より京都産業大学教育支援研究開発センター副センター長を兼務している。専門は生命科学、とくに発生生物学。